

ラックス系ランキュラス「ラックス アリアドネ」の大苗育苗に適した日長時間

「ラックス アリアドネ」の大苗育苗には、13.5時間日長が適する

背景・目的

- これまでの試験で、ランキュラスの新たな育苗技術として、球根冷蔵中のプレハブ冷蔵庫内でLED光を照射して育成した大苗を定植する大苗育苗技術を開発してきました。
- 今回、ラックス系ランキュラス「ラックス アリアドネ」の大苗育苗に適した日長時間を明らかにするための試験に取り組みました。

成果の内容

- 育苗時の日長時間を13.5時間にするこで、10時間で育苗した場合より大きい苗を育成することができます（表1）。
- 育苗時の日長時間が長くなるほど1番花の到花日数が短くなりますが（表2）、16時間日長で育苗すると、年内収穫分の切り花品質が低下します（データ略）。
- 全期間を通した切り花品質は、13.5時間日長で育苗した株が最も優れます（表3）。10時間日長より到花日数が短く、切り花品質も優れる13.5時間日長が、「ラックス アリアドネ」の大苗育苗に最も適しています。

表1 育苗終了時の苗質

試験区	処理株数 (株)	生存株数 ^z (株)	展開葉数 (枚/株)	最大草丈 ^y (cm)	最大葉柄長 ^x (mm)
10時間日長区	35	32	5.6±0.5 ^w	a ^v 7.3±0.4 b	56.3±2.8 b
13.5時間日長区	35	32	7.5±0.9 a	9.2±0.4 a	71.5±3.4 a
16時間日長区	35	35	5.4±0.6 a	8.7±0.4 a	66.6±3.9 ab

^z 生存株数は、葉が1枚以上展開している株を計測した^w 平均値±標準誤差(nは生存株数)^y 最大草丈は、萌芽した芽の中で最も長い芽を測定した^v Steel-Dwassの多重比較により、^x 最大葉柄長は、株の中で最も長い葉柄を測定した

異文字間に5%水準で有意差あり

表2 1番花の到花日数

試験区	到花日数 ^z (日)
10時間日長区	57 ± 4 ^y a ^x
13.5時間日長区	54 ± 4 ab
16時間日長区	48 ± 0 b

^z 定植日(10/18)から1番花開花までの日数^y 平均値±標準誤差 (n=3)^x Tukeyの多重比較により異文字間に5%水準で有意差あり

表3 全期間を通した切り花品質と株あたり切り花本数

試験区	切り花重 (g)	切り花長 (cm)	莖長 (cm)	莖径 (mm)	側枝数 (本)	株あたり切り花本数 (本)
10時間日長区	41.0 ± 4.3 ^z a ^y	61.3 ± 2.6 b	58.6 ± 2.5 ab	6.2 ± 0.2 a	3.1 ± 0.1 b	19.0 ± 0.7 a
13.5時間日長区	45.5 ± 4.2 a	64.4 ± 2.7 a	61.6 ± 2.6 a	6.4 ± 0.1 a	3.3 ± 0.1 a	19.6 ± 0.7 a
16時間日長区	41.3 ± 4.4 a	61.1 ± 1.7 b	58.5 ± 1.7 b	6.2 ± 0.2 a	3.3 ± 0.1 ab	19.3 ± 0.8 a

^z 平均値±標準誤差 (n=3)^y Tukeyの多重比較により異文字間に5%水準で有意差あり

写真1：育苗時の様子



写真2：育苗終了時の様子

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 「ラックス アリアドネ」の大苗育苗時に活用できます。
- 普及対象地域：中部地区、西諸県地区

留意点

- 「ラックス アリアドネ」における結果であり、スタンダード系などの形質が大きく異なる品種においても、最適な日長時間を検討していく必要があります。